



【JHUPO 通信 No. 13】 2009. 7. 15

【JHUPO 及び HUPO 大会のご案内】

JHUPO 第 7 回大会

開催日時：2009 年 7 月 27 日(月)-28 日(火)

場 所：北里大学薬学部（東京都）

大会ホームページ：[http://www.bioweb.ne.jp/7th\\_jhupo/](http://www.bioweb.ne.jp/7th_jhupo/)

多数の会員、非会員の皆様のご参加をお願いいたします。なお、7 月 28 日(火)には JHUPO 総会があります。議題は、予算案、日本プロテオーム学会設立など。

HUPO 第 8 回世界大会

開催日時：2009 年 9 月 26 日(日)-30 日(水)

場 所：カナダ トロント

詳 細：<http://www.hupo.org/meetings/congress/?8>

【研究室便り- 6】 産業技術総合研究所 根本研究室

（独）産業技術総合研究所バイオメディシナル情報解析研究センターの《根本 直》先生の研究室を根本先生ご自身に紹介していただきます。

（独）産業技術総合研究所バイオメディシナル情報解析研究センターは前身である生物情報解析研究センターの成果の上に立って創薬基盤技術研究を目的に 2008 年 4 月に設立されました。

私たちのラボは東京都臨海副都心（お台場）にある本体から離れたつくばキャンパスにあり、常勤研究員 2 名、研究補助職員 2 名、技術研修や共同研究来所者などで総勢 10 ほどの規模です。もっとも技術研修や共同研究で来所される方は常勤ではありませんから、普段はとても小さな静かなラボです。JHUPO 設立当時は主力の 5 台の溶液 NMR 装置によるタンパク・ペプチド・糖鎖の構造・

相互作用研究に加え、筑波大学と協力して枯草菌膜タンパク質の MALDI-ToF MS 解析方法などプロテオミクス分野の研究をしていたのですが、構造プロテオミクスの大組織・大研究路線から離れ、現在は NMR-メタボリック・プロファイリング (NMR-MP) の研究を行っています。

この技術は、包括的メタボローム解析の一手法とも言え、混合物溶液を分離精製することなく直接 NMR スペクトルを測定、統計解析して有効な情報を引き出そうとするものです。少人数の実施が可能、高度な NMR スペクトル解析の知識が有る段階までほとんど不要である上、一次スクリーニング、仮説設定、追跡・評価などにとっても便利な手法で、うまくするとバイオマーカーの発見も可能です。私たちが強く勧めるスペクトルオリエンテッドなインタラクティブ・プロファイリングは、実験系のパラメータが多すぎてよく解らないようなときに、「とりあえずやってみてざっくりと把握して仮説を立てる」のに適していますから、この考え方は、プロテオミクスやメタボロミクスなどのオミックス解析を繋ぐ手法になるのではないかと考えています。

NMR-MP は工業製品、食品、創薬、化学品安全への導入が始まりつつありますが、現在は遺伝子検査会社と連携して直接健康（未病）状態を測れないかと検討を進めています。また各種応用化のため材料分野まで含めて広く共同研究を求めているところです。この技術の普及のため、メタボリック・プロファイリング研究会を組織し、JAIMA カンファレンス他を利用して技術セミナーを行っていますのでご興味のある方は是非覗いてみて下さればと思います。

(産総研 根本 直)

お願い： 会員の皆様の研究室をご紹介下さい。

400～800 字の原稿を平野 (hirano@yokohama-cu.ac.jp) 宛お送り下さい。

【JHUPO 通信】は JHUPO 会員の皆様に送付しています。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】は、

JHUPO 事務局 (cljhupo@secretariat.ne.jp) にお問い合わせいたします。